

Triennale School

トリエンナーレ スクール

会場：
アートラボあいち
定員：
70名(1部のみ参加 35名 / 1部・2部
両方参加 35名)
参加費：
無料(要事前申込・先着順)
主催：
あいちトリエンナーレ実行委員会

vol.03

2018
4.22
sun
14:00
16:00

『ワークショップと
対話のデザインに
ついて』

ゲスト：
安齋 勇樹
(東京大学大学院情報学環特任助教、
株式会社ミミクリデザイン代表取締役)

vol.04

2018
5.20
sun
14:00
16:00

『ビエンナーレ/
トリエンナーレは
なぜこんなに開催
されるのか?』

ゲスト：
能勢 陽子、鷺田 めるろ
(「あいちトリエンナーレ2019」
キュレーター)

vol.05

2018
6.17
sun
14:00
16:00

『テクノロジーと
幸福は比例するか?』

ゲスト：
ドミニク・チェン
(情報学研究者)

vol.06

2018
7.15
sun
14:00
16:00

『赴くこと、
滞在すること、
創ること』

ゲスト：
渡辺 望 (アーティスト)



Triennale School

トリエンナーレスクール

トリエンナーレスクールは、「あいちトリエンナーレ2019」の開催に向けて、多方面で活躍するアーティストや専門家をゲストに迎え、様々な視点から切り込むことで、考え方、学び方を発見していくレクチャー&ディスカッションシリーズです。

今日的なテーマと、アートの創造性を組み合わせ、「クリエイティブな発想」を身近に感じられるプログラムです。

第3回 ワークショップと対話のデザインについて

ゲスト: 安齋 勇樹

(東京大学大学院
情報学環特任助教、
株式会社ミミクリデザイン
代表取締役)

多くの人が一堂に会して議論を行う場においては、議論の進め方によって「建設的な対話」を生み出すことが可能といえます。東京大学にてワークショップを研究対象としている安齋さんとともに、「建設的な対話」を設計する秘訣を探っていきたいと思えます。

日時: 2018年4月22日(日)
14:00~16:00

ANZAI YUKI



あんざい ゆうき ● 1985年生まれ。東京大学大学院学際情報学府博士課程修了。博士(学際情報学)。商品開発、人材育成、地域活性化などに多数取り組みながら、多様なメンバーのコラボレーションを促進し、創造性を引き出す方法論について研究している。主な著書に「ワークショップデザイン論-創ることで学ぶ」(共著・慶応義塾大学出版会)、「協創の場のデザイン-ワークショップで企業と地域が変わる」(藝術学舎)等。

第4回 ビエンナーレ/トリエンナーレはなぜこんなに開催されるのか?

ゲスト: 能勢 陽子、驚田 めるろ

(「あいちトリエンナーレ2019」
キュレーター)

「あいち」を含めて世界中で開催されている「ビエンナーレ」や「トリエンナーレ」。その土地ならではの背景や、アートの歴史といった文脈の中で、アーティストやキュレーターがどのような視点でイベントを見ているのか? また、それぞれの土地がどのようにアートの祭典と関わっているのか? 世界中のアートフェスティバルを巡ってきているキュレーターのお二人に、多角的な視点で紹介してもらいます。

日時: 2018年5月20日(日)
14:00~16:00

NOSE YOKO



のせ ようこ ● 豊田市美術館学芸員。1997年より現職。「杉戸洋-こっぼとあまつぶ」展(豊田市美術館、2016年)、「ビルディング・ロマンス」(豊田市美術館、2018年)など多数の展覧会を企画。展評等の執筆活動も行っている。

WASHIDA MERURO



わしだ めるろ ● 1973年京都府生まれ。金沢市在住。2018年3月まで金沢21世紀美術館キュレーター。1998年東京大学大学院美術史学専門分野修士課程修了。専門は美術史学(現代美術)、博物館学。地域や参加をテーマに現代美術・建築の展覧会・プロジェクトを手がける。第57回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館キュレーター(2017年)

第5回 テクノロジーと幸福は比例するか?

ゲスト: ドミニク・チェン

(情報学研究者)

メディアテクノロジーと人間の創造性、またはそれらを取り巻くルールや制度設計などの多数の分野で活躍している情報学研究者のドミニク・チェンさんを招き、近年取り組んでいる「Well-being」という考え方について伺います。テクノロジーが人の生活を幸福にしているのだろうか? という疑問から出発し、欧米と日本の「幸福観」の違いに着目しているドミニクさんとともに、日本ならではのWell-beingを探るディスカッションを展開します。

日時: 2018年6月17日(日)
14:00~16:00

DOMINICK CHEN



どみにく ちえん ● 1981年生まれ。フランス国籍。博士(学際情報学)、早稲田大学准教授。クリエイティブ・コモンズ・ジャパン理事、株式会社ディヴィデュアル共同創業者。IPA未踏IT人材育成プログラム・スーパークリエイター認定。2016年度、2017年度グッドデザイン賞・審査員兼フォーカスイシューディレクター。近著に「謎床: 思考が発する編集術」(晶文社、松岡正剛との共著)。訳書に「ウェルビーイングの設計論: 人がよりよく生きるための情報技術」(BNN新社、渡邊淳司との共同監修)等。

◎ 各回共通

進行: 会田大也 (「あいちトリエンナーレ2019」キュレーター)
開始30分前から受付開始いたします。

第6回 赴くこと、滞在すること、創ること

ゲスト: 渡辺 望

(アーティスト)

アーティストとして国内外の滞在制作プログラムに参加してきた渡辺さんをお招きし、アーティストが様々な土地へ赴き、滞在して現地の人々との関係を結びながら作品制作していくことについてお話を伺います。トリエンナーレの開催地として、世界各国からやって来るアーティストといかに関係性を結ぶのか、といったテーマについて、多くのヒントが聞けるチャンスです。

日時: 2018年7月15日(日)
14:00~16:00

WATANABE NOZOMI



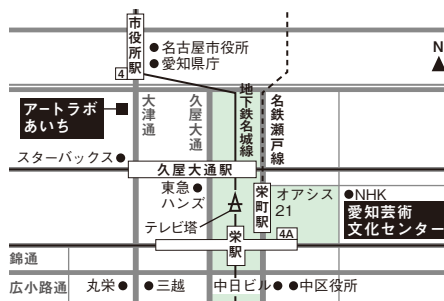
わたなべ のぞみ ● 1984年神奈川県生まれ。多摩美術大学、UCA芸術大学(UK)にて修士号を取得。作品の多くは周囲の環境から大きな宇宙空間を連想するようデザインされており、インスタレーション、映像、写真、書籍から大規模なプロジェクト作品までメディアを横断しながら活動を展開。近年は国内外の展覧会、アートイベントの参加に加え、AIRプログラム(滞在制作)をきっかけに人々とともに構築する作品のあり方を探求している。

参加費: 無料(要事前申込・先着順)

申込方法: あいちトリエンナーレ公式WEBサイトイベント情報(<http://aichitriennale.jp/event/index.html>)の申込フォームより申込みください。

申込締切: 【第3回】2018年4月19日(木) 【第4回】2018年5月17日(木) 【第5回】2018年6月14日(木) 【第6回】2018年7月12日(木)

※申込み1件につき1名のみといたします。※各回ごとに申込みが必要です。※1部(レクチャー)のみの申込みは可能ですが、2部(ディスカッション)に参加を希望される方は、1部・2部両方参加で申込みください。(2部のみの申込みはできません。) ※申込みは、1部/1部・2部共に先着順とさせていただきます。※参加の可否は、後日事務局よりご連絡いたします。※各施設へのお問い合わせはご遠慮ください。



アクセス:

アートラボあいち

名古屋市中区丸の内3-4-13 愛知県庁大津橋分室2~3階

○地下鉄名城線「市役所」駅下車、4番出口から南へ徒歩5分

○地下鉄桜通線・名城線「久屋大通」駅下車、1番出口から北へ徒歩8分

問い合わせ先:

あいちトリエンナーレ実行委員会事務局

〒461-8525 名古屋市中区東桜1-13-2 愛知芸術文化センター 6階

TEL 052-971-6127 FAX 052-971-6115

<http://aichitriennale.jp>

あいちトリエンナーレは3年ごとに開催する国際芸術祭です。

あいちトリエンナーレ2019

芸術監督: 津田大介

テーマ: 情の時代 Taming Y/Our Passion

会期: 2019年8月1日(木)~10月14日(月・祝) [75日間]



あいち
トリエンナーレ
2019
AICHI TRIENNALE 2019

